

関係各位

徹底議論 「バスの未来を利用者と一緒に関西で考える」 ～関越道事故を受けて～

関越道バス事故から3ヶ月。報道に取り上げられることも少なくなり、一般利用者にとって事故の惨劇も過去の話となりつつあります。しかし、本件は個別事故、個別運営形態の問題のみならず、バスの社会的使命と現状、今後のあり方を考えたとき、大きな課題と改善のヒントがあるものと考えられます。そこで、利用者を交えて議論し、持続可能なバスの未来に関西で考え、全国へ発信したいと思えます。

多くの方のご来場をお待ちしております。よろしくお願いいたします。

記

■主催:バスの未来を考える会実行委員会

■徹底議論「バスの未来を利用者と一緒に関西で考える」～関越道事故を受けて

第1部 パネルディスカッション

- ・コーディネータ 森栗茂一（大阪大学コミュニケーションデザイン・センター）
- ・平山幸司（WILLER EXPRESS 株式会社 企画・執行部門長兼旅客部門長取締役執行役員）
- ・野田年洋（神姫バス株式会社 バス事業部計画課兼高速バス戦略課）
- ・谷口守弘（明星自動車株式会社 代表取締役社長）
- ・関西のバス会社の実務担当者（調整中）
- ・若者利用者（調整中）
- ・オブザーバー；澤井俊（国土交通省近畿運輸局）
- ・事務局；楠田悦子（株式会社自動車新聞社）

第2部 全員議論（参加者とともに）

徹底議論「バスの未来を利用者と一緒に関西で考える」～関越道バス事故を受けて～

■テーマ

関越道バス事故から見えてきたものは何か？安易な価格競争から脱却を目指すためには、各々がどう動くべきか。犯人探しではなく、バスの社会的使命と未来を見据えて、利用者とともに語り合いたい。

■コンセプト

- ・規制緩和後の価格競争の中で事業者の質が相乗的に劣化。関越道事故はそのような文脈の中で起こったもの。
- ・現在、国交省で規制の見直しが進められているが、規制強化に頼るだけでは本質的な解決にならない。
- ・安易な価格競争からどうやって脱却するのか。
- ・それには、差別化、高付加価値化して、価格を売りにする事業者と「完璧な」棲み分けを目指すことがカギとなるのでは。
- ・棲み分けるため、ターゲットを絞り、その利用者ニーズをつかむべきではないか。

■日時

7月25日（水）13時半～（2時間程度）

■形式:パネルディスカッション
座談会 (約 60 名を予定)

■参加費 ; 無料

■場所:大阪大学中之島センター 406 号室
〒530-0005 大阪市北区中之島 4-3-53 TEL 06-6444-2100
阪神・JR 福島駅から南へ徒歩 10 分



■お問合せ
バスの未来を考える会実行委員会
事務局 楠田悦子 (株式会社自動車新聞社)
TEL:078-570-5763 FAX:050-3737-6662 info@j-np.com

参加申込み

御名前

御住所

TEL

返信先 FAX:050-3737-6662 info@j-np.com
事務局 株式会社自動車新聞社